

La Confiance

ラ・コンフィアンス

大阪赤十字病院 患者総合支援センターだより

Confiance (コンフィアンス)とは、フランス語で「信頼、信用」を意味します。

vol.45

2024年 秋号

Topics

- ・「AYA世代がんサポートチーム」
を発足しました
- ・「大腸がん・直腸がんセンター」
を開設しました

診療科紹介 医療最前線 〈循環器内科〉

心アミロイドーシス診療の進歩



Topics 1 「AYA世代がんサポートチーム」を発足しました

がん診療センター 今田 和典

この度、若いがん患者さんをサポートするため、「AYA世代がんサポートチーム」を発足しました。

AYA世代とは具体的に15歳から39歳の方のことをいいますが、AYA世代でがんと診断される方には、がんや治療への不安だけでなく、他の世代にはみられない特有の悩み(学業や進学、就職、恋愛や結婚、妊娠・出産、家族のことなど)を抱え、将来に対する不安を感じる人も少なくありません。

当院では、患者さん一人ひとりのニーズに対応できるよう、多くの専門診療科医師、看護師、薬剤師、ソーシャルワーカーなどで構成された多職種チームによる診療、支援体制を整えています。多職種で協力、情報共有しながら患者さんが安心して治療に専念できるようサポートします。若いがん患者さんでも安心してご紹介いただけましたら幸いです。

大阪赤十字病院 がん相談支援センター TEL: 06-6774-5152(直通)

詳しくは、当院がん診療センターのHPをご覧ください。➡



Topics 2 「大腸がん・直腸がんセンター」を開設しました

消化器外科、消化器内科、腫瘍内科、放射線治療科が合同で診療にあたり、最善の治療を提供します。



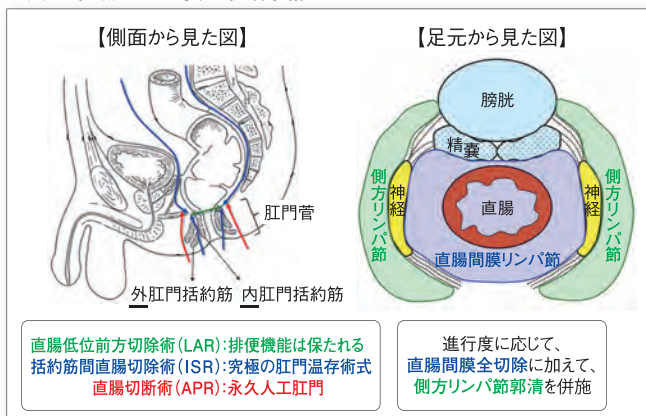
消化器外科部副部長
兼 大腸がん・直腸がんセンター長
野村 明成

大腸がん(結腸がん・直腸がん)は年々増加し、2023年の予測では罹患数が第1位、死亡数が第2位です。しかし、適切な診断と治療を受ければ、他のがんと比べて治りやすいことが特徴です。深達度が浅い早期がんには内視鏡治療が行われ、臓器の温存が目指されます。一方で、進行がんには手術療法が主軸となり、必要に応じて化学療法や放射線治療を併用する集学的治療が推奨されます。

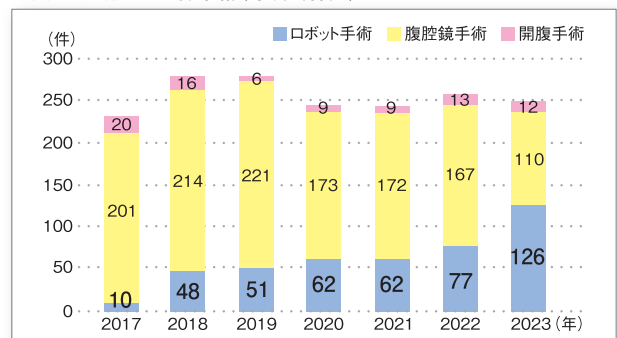
この度、大腸がん、特に肛門に近い下部直腸がんに対して最適な診療が行えるよう窓口を一本化し、「大腸がん・直腸がんセンター」を開設しました。消化器外科、消化器内科、腫瘍内科、放射線治療科が連携して診療を行います。また、手術後の排便機能の改善を目指し、排便機能外来も併設しました。

直腸がんの手術には、根治性と生活の質(人工肛門の回避、排便・排尿・性機能の温存)をバランスよく両立させることが求められます。それは狭い骨盤の深部に「直腸がん・リンパ節」と「排便・排尿・性機能を担う臓器・神経」が密接して存在するためです(下図1)。

▼図1: 直腸がんに対する根治手術



▼図2: 大腸がん切除手術(年度別件数)



当院大腸外科では、ほぼすべての手術を精緻な内視鏡手術(腹腔鏡やロボット)で行い(上図2)、集学的治療と手術手技、周術期管理を徹底することで良好な治療成績(剥離面陽性・一時的人工肛門・縫合不全の回避)を維持しています(下図3)。

さらに、高度に進行した下部直腸がんには、分子標的治療薬を併用した化学療法、放射線化学療法、両者を組み合わせた強力な術前治療(TNT; total neoadjuvant treatment)を行い、局所再発や遠隔再発の低減を目指します。術前治療で完全寛解が得られた場合(15~30%の確率)には、手術を行わずに慎重に経過観察する戦略(NOM; non-operative management)により、直腸切除術後の機能障害(便失禁・永久人工肛門)を回避できる可能性があります。

エビデンスに基づいた患者さん本位の最善の治療を提供しますので、お気軽にご相談いただければ幸いです。

▼図3: 治療成績

下部直腸がんに対する手術療法の課題	問題点	一般的な頻度(%)	当院大腸外科(%)
剥離面陽性(切除標本の表面から1mm以内にがんが存在)	局所再発の原因となる	5~10	1.8
縫合不全(結腸と肛門の繋ぎ目の破綻)	腹膜炎 → 重症化 局所再発の原因となる	10~20	2.3
予防的人工肛門(縫合不全の予防が目的)	半年から1年間の人工肛門管理 閉鎖するために再度手術が必要	50~100	11.7

心アミロイドーシス診療の進歩

●治療法がないといわれていた 心筋疾患のGame Changer

2000年代初頭までは心アミロイドーシスは鑑別、治療が困難な疾患と考えられていましたが、現在ではその診断・治療にGame Changeがもたらされています。心アミロイドーシスは二次性心筋症のひとつで、病期の進行とともに進行性かつ難治性の心不全を呈することが知られています。その1病型であるトランスサイレチン型心アミロイドーシスは、この疾患を高い感度で検出可能なシンチグラフィ検査を用いた診断の広がりにより、従来の想定以上に頻度の高い疾患と認識されるようになりました。また一方では、トランスサイレチン(TTR) 4量体の安定化を介してアミロイド形成を抑制するタファミジス(ビンダケル®)が近年ATTR心アミロイドーシスに対するの適応を取得し、疾患修飾療法として予後改善が期待されています。

●今なぜ、心アミロイドーシスカ

アミロイドーシスは全身疾患ですが、心臓に影響するのは免疫グロブリン軽鎖によるAL(原発性)アミロイドーシス、TTR由来の遺伝性ATTRアミロイドーシス、そして野生型ATTRアミロイドーシスの3つです。野生型ATTR由来のアミロイド線維の組織への沈着は加齢とともに進行し、国内の報告では80歳以上の剖検症例のうち12%に心臓へのTTRアミロイド沈着を認めています(Mod Pathol. 2011;24:1533)。恐らくその度合いが強いと一生の間に臓器障害による症状が出現すると考えられます。急速に高齢化社会が進んでいる今日、国内では約120万人の心不全患者がいると想定され、この中にアミロイドーシスによる心不全患者が潜在することを考慮すべきです。心臓にアミロイドが蓄積すると、心内腔の拡張を伴わずに心室壁は肥厚し拡張不全を生じるHFpEF(heart failure with preserved ejection fraction)を惹起し、高齢の慢性心不全患者中、HFpEFの約14%はATTR心アミロイドーシスであるとも報告されています(ESC Heart Fail. 2023;10:1896)。

従来ATTR心アミロイドーシス診断のための血清マーカーは存在せず、しかし以前から骨疾患や急性心筋梗塞の診断に使用されていた^{99m}Tc-ピロリン酸シンチグラフィを用いて、感度58~99%、特異度79~100%でATTR心アミロイドーシスを診断できることが明らかとなり、2020年10月には保険収載可能となったため診断面で飛躍的な進歩を遂げました。

肝臓で産生されたTTRは通常4量体として生体内に存在していますが、4量体構造不安定化により単量体に解離しアミロイド化します。TTR4量体に結合し安定化するタファミジスのATTR心アミロイドーシスを対象としたランダム化比較試験(ATTR-ACT試験)が実施され、タファミジス群では全死亡率と心血管関連入院頻度がプラセボ群と比較して有意に低値でありました。この結果から、2019年3月、タファミジスは(野生型と遺伝性)ATTR心アミロイドーシスに対するの適応を取得しています。なお、ATTR心アミロイドーシスに対してタファミジスを開始する際は日本循環器学会から認定を受けた施設での導入が必要であり(継続投薬はいずれの施設でも可能)、現在当院は大阪市内に5施設ある認定施設の1つで、2021年より導入を開始しています。

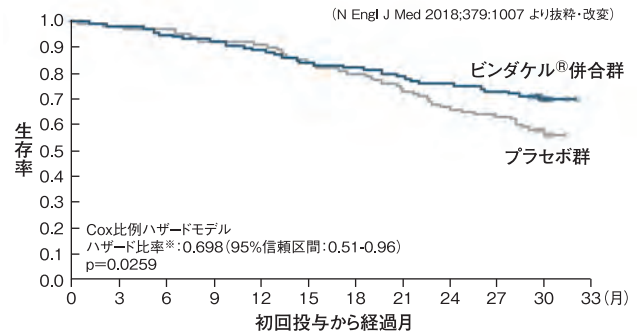
Profile

循環器内科 副部長
伊藤 晴康



1993年名古屋大学医学部卒業。2002年京都大学大学院博士課程修了。京都大学医学部附属病院内科、兵庫県立尼崎病院(現兵庫県立尼崎総合医療センター)で研修。京都大学医学部附属病院循環器内科医員を経て、2003年大阪赤十字病院循環器内科赴任。2009年より現職。【資格】日本内科学会認定内科医 総合内科専門医・指導医 / 日本循環器学会循環器専門医 日本循環器学会ピンダケル導入認定医

■死因を問わない死亡*のKaplan-Meier曲線 (ITT集団)



●野生型ATTR心アミロイドーシス診断におけるポイント

以上から、心アミロイドーシスは治療可能な心筋症ですが、その効果は進行例では限定的であることから早期診断がより重要な時代になっています。以下に、ATTR心アミロイドーシス疑い症例の専門医紹介基準の私見を示しました。該当する患者さんがおられましたら、ご紹介をよろしくお願いいたします。

ATTR心アミロイドーシス疑い症例の専門医紹介基準(私見)

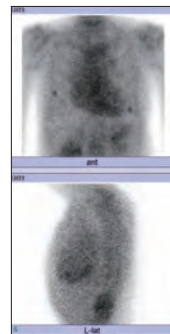
対象 心エコーで左室肥大(壁厚12mmを超え、部位は問わない)がある症例、もしくは原因不明の心不全(特に左室駆出率の顕著な低下がない症例)

- ①^{99m}Tc-ピロリン酸シンチグラフィ、もしくは骨シンチグラフィを施行し心筋集積陽性
- ②シンチグラフィ未施行で、以下のいずれかの特徴がある症例
 - 心電図で高電位を呈していない、もしくは肢誘導低電位
 - 房室ブロック・脚ブロック合併例
 - 心電図で前胸部誘導R波増高不良(poor R wave progression)、もしくは偽心筋梗塞パターン(胸部誘導の連続する2誘導以上でQSパターンで冠動脈疾患がない)
 - トロポニンT、もしくはトロポニンIが繰り返し高値
 - 手根管症候群合併例

野生型ATTR心アミロイドーシスの典型例

■症例/8x歳 女性 ■既往歴/両側手根管症候群

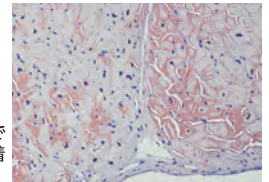
▼心電図 肢誘導低電位 左脚ブロック



◀^{99m}Tc-ピロリン酸シンチグラフィで心筋集積



◀心臓超音波検査で左室壁肥厚



▶心筋生検でアミロイド沈着



院内無料Wi-Fi 接続サービスを開始しました

患者さんおよびご来院の方々の利便性の向上を図ることを目的として、院内に無線LAN (Wi-Fi) によるインターネット接続環境を整備しました。

お手持ちの無線LAN機能を搭載したスマートフォン、タブレット端末・パソコン等の機器から、必要情報を入力することで、無料でインターネットに接続することができます。

接続に必要なSSIDおよびパスワードは院内に掲示しています。
ぜひ、ご利用ください。

詳細情報については、当院ホームページでご確認ください。



ご利用いただける主なエリア

- 外来**
 - 玄関ホール
 - 総合ホール
 - 中央処置室
 - 各ブロック受付周辺
 - 待合室
 - 通院治療センター
 - 入院前サポートセンター
 - コーヒーショップ
 - ヘアサロン
 - コンビニエンスストア周辺
- 病棟**
 - デイルーム
 - 病室

Information

講演会・イベントのご案内 2024年11月～2025年1月

大阪赤十字病院 小児科 クリニカルカンファレンス

- ◆ 日 時 / 第346回 2024年11月28日(木) 15:00～16:30
第347回 2025年 1月23日(木)
- ◆ 場 所 / 大阪赤十字病院 4階 第4会議室 + WEB (Zoom)
- ◆ 主 催 / 大阪赤十字病院 小児科 ◆ 対 象 / 医師、医療関係者
- ◆ 参加費 / 無料

※開催方法や詳しい演題名・演者は、発表月の第1週に決定しますので、お問い合わせください。

第56回 日赤フォーラム

- ◆ 日 時 / 2024年12月14日(土) 15:00～
- ◆ 場 所 / 大阪赤十字病院 4階 会議室
(ハイブリッド方式 (WEB開催との併用))
- ◆ 主 催 / 大阪赤十字病院
- ◆ 対 象 / 医師、医療従事者 ◆ 参加費 / 無料
- ◆ テーマ / 令和6年度における各診療科の取り組み

人事異動紹介

2024年8月1日～11月1日

新任

2024年10月1日付



緩和ケア科
副部長
岩城 隆二

昇任

2024年10月1日付



耳鼻咽喉科・頭頸部外科
副部長
吉田 尚生

昇任

2024年10月1日付



循環器内科
副部長
多田 朋弥

新任

- 9月1日付【救急科】山下 純平(専攻医)
- 10月1日付【形成外科】宮崎 詩織(医師) / 杉本 龍志朗(専攻医) 【泌尿器科】神戸 貴成(専攻医) 【腎臓内科】松本 直樹(専攻医) 【消化器外科】溝上 優美(専攻医) 【呼吸器外科】進藤 祐輔(専攻医)

退職

- 8月31日付【小児科】野村 安隆(医長→非常勤嘱託医師) / 原田 太郎(医師) 【産婦人科】福田 真優(専攻医)
- 9月30日付【形成外科】山脇 聖子(副部長) 【泌尿器科】前川 けん(専攻医) 【小児科】柴田 幸穂(専攻医) 【脳神経内科】外山 瑞葉(専攻医) 【救急科】清原 亮太(専攻医) / 光吉 貴哉(非常勤嘱託医師) / 栗山 明(非常勤嘱託医師) 【消化器外科】日笠 兼太郎(専攻医) / 大久保 壮晟(専攻医) / 岡田 あずさ(専攻医)
- 10月31日付【血液内科】恩田 佳幸(医長)

▶ 2024年4月より、「医療連携課」は「医療連携・入退院支援課」と名称を変更いたしました。

日赤オンライン医学講座

地域の先生方や一般市民の皆さま向けにオンラインでの医学講座を行っています。申込不要でお好きな時間にご視聴いただける10～20分程度のミニ講座です。

10月開催分

「正しい吸入方法

～ドライパウダー定量吸入器の巻～

薬剤部(アレルギーセンター) 薬剤師 小松 絵美

「アレルギー性結膜炎」

眼科(アレルギーセンター) 医師 河合 健太郎

- 当院ホームページから視聴できます。
- **YouTubeによる動画配信** (公開より1年間視聴可)
- 月に2回、原則毎月1日・15日に新規動画を配信。
※ 休日の場合は翌開庁日です。

https://www.youtube.com/playlist?list=PLO0syUBOnjakeNHmZol7BsrNmCE3g_S8



ぜひ、
ご覧ください!

医療機関向けLINE公式アカウント

当院のトピックスやセミナー・講演会、医療連携に関する情報をお送りしています。



「友だち登録」は
こちらから



ぜひ、
ご登録ください!

発行

大阪赤十字病院 医療連携・入退院支援課

大阪市天王寺区筆ヶ崎町5-30

<https://www.osaka-med.jrc.or.jp>

2024年10月発行

■医療連携・入退院支援課のご案内

受付時間 / 平日8:30～20:00、土曜8:30～13:00

休 診 日 / 日曜・祝日、12月29日～1月3日(年末年始)、5月1日(本社創立記念日)

連 絡 先 / (直通) TEL:06-6774-5127

FAX:06-6774-5126